

令和 5 年度 税制改正 要望事項 (新設・拡充・延長)

(農林水産省 水産庁 水産経営課)

項目名	中小企業者等が機械等を取得した場合の特別償却又は法人税額等の特別控除 (中小企業投資促進税制) (③漁業協同組合等関係)	
税目	所得税、法人税 (措法第 10 の 3、第 42 の 6)	
要望の内容	<p>漁業協同組合等が機械等を取得した場合等の特別償却又は税額控除制度の適用期限の 2 年延長</p> <p>[制度の概要]</p> <p>(1) 対象者 : 漁業協同組合、漁業協同組合連合会、水産加工業協同組合、水産加工業協同組合連合会等 (以下「漁協等」という。)</p> <p>(2) 対象設備 : 全ての機械・装置、特定の工具及び一定のソフトウェア</p> <p>(3) 特例措置 : 機械等の取得価額の 30% の特別償却又は 7 % の税額控除の選択適用</p> <p>(4) 取得価格 : 機械装置は 1 設備 160 万円以上 工具は 1 設備 120 万円以上、1 設備 30 万円以上かつ複数設備合計 120 万円以上 ソフトウェアは複数合計 70 万円以上</p>	
	平年度の減収見込額 (制度自体の減収額) (改正増減収額)	- 百万円 (▲46,300 百万円) (- 百万円)

<p>新設・拡充又は延長を必要とする理由</p>	<p>(1) 政策目的</p> <p>漁協等による設備の近代化及び合理化を通じて、生産流通コストの低減、加工製品の高付加価値化等を進め、水産業等の体質強化を図り、漁業経営の安定を実現する。</p> <p>(2) 施策の必要性</p> <p>近年、水産資源の変動による主要魚種の不漁が続き、漁業者等の収入が減少している中、新型コロナウイルス感染症の影響による水産物の需要の減少や価格の低下も加わり、水産業の経営は厳しい状況におかれている。これに対応し、経営の安定のためには、漁協等の設備の近代化や合理化を進め、漁業者等の生産流通コストの低減、水産加工品の高付加価値化等を進めることが必要であり、生産から加工まで幅広い分野の機器等が対象となり、広範に投資効果のある本特例措置の延長が必要である。</p> <p>また水産基本計画（令和4年3月閣議決定）第2 Ⅲ 2（2）において「漁業就業者の減少・高齢化、水揚量の減少など厳しい情勢の中、漁業者の所得向上を図るためには漁協の経済事業の強化が必要」としており、（1）の政策目的と合致し、水産施策上も必要な措置である。</p>	
<p>今回の要望（租税特別措置）に関連する事項</p>	<p>合理性</p>	<p>《大目標》 食料の安定供給の確保、農林水産業の発展、農山漁村の振興、農業の多面的機能の発揮、森林の保続培養と森林生産力の増進、水産資源の適切な保存・管理等を通じ、国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展を図る。</p> <p>《中目標》 水産物の安定供給と水産業の健全な発展</p> <p>《政策分野》 漁村の活性化の推進</p> <p>政策の達成目標 水産業等の体質強化 他産業並みの所得を確保しうる効率的かつ安定的な水産業等の育成</p> <p>（令和5年度及び令和6年度の2年間に本特例措置の下で、漁協等が取得する機械等の金額：4,680百万円（本特例措置を受ける投資額（見込額）の割合（平均）：53.2%））</p> <p>租税特別措置の適用又は延長期間 令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年間）</p> <p>同上の期間中の達成目標 政策の達成目標と同じ</p>

		<p>政策目標の達成状況</p>	<p>本特例措置の下、漁業協同組合等により約 29～66 億円の投資がなされ、水産業等の体質強化に貢献している。</p> <p>本特例措置の下、漁協等が行った投資額 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>元年度 (実績)</th> <th>2年度 (実績)</th> <th>3年度 (実績)</th> <th>4年度 (見込)</th> <th>5年度 (見込)</th> <th>6年度 (見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本特例措置を受けた投資額(A)</td> <td>4,252</td> <td>2,061</td> <td>2,052</td> <td>2,788</td> <td>2,300</td> <td>2,380</td> </tr> <tr> <td>全投資額(B)</td> <td>6,613</td> <td>2,939</td> <td>4,828</td> <td>4,793</td> <td>4,187</td> <td>4,603</td> </tr> <tr> <td>A/B</td> <td>64.3%</td> <td>70.1%</td> <td>42.5%</td> <td>58.2%</td> <td>54.9%</td> <td>51.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※投資額の実績は、「漁業協同組合等に係る税制特例措置等の利用状況調査」の集計値(実数)。投資額の見込(4年度～6年度)は直近3カ年の平均値。</p>	区分	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (見込)	5年度 (見込)	6年度 (見込)	本特例措置を受けた投資額(A)	4,252	2,061	2,052	2,788	2,300	2,380	全投資額(B)	6,613	2,939	4,828	4,793	4,187	4,603	A/B	64.3%	70.1%	42.5%	58.2%	54.9%	51.7%				
区分	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (見込)	5年度 (見込)	6年度 (見込)																													
本特例措置を受けた投資額(A)	4,252	2,061	2,052	2,788	2,300	2,380																													
全投資額(B)	6,613	2,939	4,828	4,793	4,187	4,603																													
A/B	64.3%	70.1%	42.5%	58.2%	54.9%	51.7%																													
<p>有効性</p>		<p>要望の措置の適用見込み</p>	<p>適用件数 (単位：組合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>30年度 (実績)</th> <th>元年度 (実績)</th> <th>2年度 (実績)</th> <th>3年度 (実績)</th> <th>4年度 (見込)</th> <th>5年度 (見込)</th> <th>6年度 (見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数(組合)</td> <td>2,083</td> <td>2,069</td> <td>2,005</td> <td>1,978</td> <td>1,943</td> <td>1,908</td> <td>1,873</td> </tr> <tr> <td>適用件数(組合)</td> <td>34</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>37</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>減収額(百万円)</td> <td>51</td> <td>251</td> <td>136</td> <td>133</td> <td>173</td> <td>147</td> <td>151</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象者数については、年度末の漁協等の法人数(実数) ※令和4年度～6年度(見込)は、平成30年度～令和3年度の平均減少数(年間35組合)を基に算出。</p> <p>適用件数については、「租税特別措置の適用状況の透明化等に関する法律」に定められた適用実態調査の結果に関する報告書において、漁協等を特定することが困難であることから、「漁業協同組合等に係る税制特例措置等の利用状況調査」を独自に実施。 ※令和4年度～6年度(見込)は直近3カ年の平均により算出。</p>	区分	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (見込)	5年度 (見込)	6年度 (見込)	対象者数(組合)	2,083	2,069	2,005	1,978	1,943	1,908	1,873	適用件数(組合)	34	29	33	37	33	34	35	減収額(百万円)	51	251	136	133	173	147	151
区分	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (見込)	5年度 (見込)	6年度 (見込)																												
対象者数(組合)	2,083	2,069	2,005	1,978	1,943	1,908	1,873																												
適用件数(組合)	34	29	33	37	33	34	35																												
減収額(百万円)	51	251	136	133	173	147	151																												
		<p>要望の措置の効果見込み(手段としての有効性)</p>	<p>本特例措置の現行制度については、税額控除と特別償却の選択適用を可能としており、これにより漁業者は機械化等投資を行う初年度の税負担軽減により、資金繰りの緩和、償却費用の前倒しによる投資資金の早期回収を図ることが可能。</p> <p>また、漁協等の資金繰りにメリット(資金繰りやキャッシュフローの改善)を生じさせる効果があり、機械化等投資へのインセンティブとなる。</p> <p>加えて本特例措置では、幅広く機械等の投資を支援するが、対象設備を新品かつ一定の金額以上のものに限定するなど、機械化等投資に積極的に取り組む漁協等が重点的に支援を受けられる制度運用設計となっている。</p>																																

相 当 性	当該要望項目以外の税制上の措置	設備投資関連の税制として、「中小企業経営強化税制」があり、中小企業経営強化法における「経営力向上計画」の認定を受け、生産性の高い設備を導入した場合に利用できる税制措置となっている。																		
	予算上の措置等の要求内容及び金額	令和4年度 浜の活力再生・成長促進交付金 2,655百万円の内数																		
	上記の予算上の措置等と要望項目との関係	漁協等への設備投資に係る支援措置として、浜の活力再生・成長促進交付金の補助が該当する。しかし、浜の活力再生・成長促進交付金は施設整備事業と一体となった補助に限定されていることから、高価な高性能漁業機械等の導入を促進するためには、施設を含めた一体的な整備を行う必要があり、事業費も高額となる。																		
	要望の措置の妥当性	高性能漁業機械等の導入を行う際に、上記支援措置に比べて単独の機器導入が対象となる本措置は、漁協等における機械等への投資の促進に大きなインセンティブとなり、効率化が図られる。																		
こ れ ま だ の 租 税 特 別 措 置 の 適 用 実 績 と 効 果 に 関 連 す る 事 項	租税特別措置の適用実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度 (実績)</th> <th>元年度 (実績)</th> <th>2年度 (実績)</th> <th>3年度 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用件数 (組合)</td> <td>34</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>減収額 (百万円)</td> <td>51</td> <td>251</td> <td>136</td> <td>133</td> </tr> </tbody> </table>					30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	適用件数 (組合)	34	29	33	37	減収額 (百万円)	51	251	136	133
		30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)															
適用件数 (組合)	34	29	33	37																
減収額 (百万円)	51	251	136	133																
租特透明化法に基づく適用実態調査結果	<p>○中小企業者等が機械等を取得した場合の特別償却又は法人税額の特別控除(中小企業投資促進税制) 令和2年度実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">42の6</td> <td style="width: 40%;">単体法人・特別償却</td> <td style="width: 15%;">22,847件</td> <td style="width: 35%;">198,374百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃・税額控除</td> <td>26,135件</td> <td>16,190百万円</td> </tr> <tr> <td>68の11</td> <td>連結法人・特別償却</td> <td>47件</td> <td>1,492百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃・税額控除</td> <td>31件</td> <td>76百万円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(適用業種全体の総数であること。)</p> <p>適用件数については、「租税特別措置の適用状況の透明化等に関する法律」に定められた適用実態調査の結果に関する報告書において、漁協等を特定することが困難であることから、「漁業協同組合等に係る税制特例措置等の利用状況調査」を独自に実施。なお、同調査に基づき、「租税特別措置の適用状況の透明化に関する法律」に定められた適用実施調査について報告を行っている。</p>				42の6	単体法人・特別償却	22,847件	198,374百万円		〃・税額控除	26,135件	16,190百万円	68の11	連結法人・特別償却	47件	1,492百万円		〃・税額控除	31件	76百万円
42の6	単体法人・特別償却	22,847件	198,374百万円																	
	〃・税額控除	26,135件	16,190百万円																	
68の11	連結法人・特別償却	47件	1,492百万円																	
	〃・税額控除	31件	76百万円																	

<p>租税特別措置の適用による効果 (手段としての有効性)</p>	<p>本特例措置により、漁協等による機械等に対する投資促進が図られ、水産業等の体質強化に貢献している。 (単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="628 248 1399 434"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>30年度 (実績)</th> <th>元年度 (実績)</th> <th>2年度 (実績)</th> <th>3年度 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本特例措置を受けた投資額</td> <td>804</td> <td>4,252</td> <td>2,061</td> <td>2,052</td> </tr> </tbody> </table>	区分	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	本特例措置を受けた投資額	804	4,252	2,061	2,052
区分	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)							
本特例措置を受けた投資額	804	4,252	2,061	2,052							
<p>前回要望時の達成目標</p>	<p>水産業等の体質強化 他産業並みの所得を確保しうる効率的かつ安定的な水産業等の育成</p> <p>(令和3年度及び令和4年度の2年間に本特例措置の下で、漁協等が取得する機械等の金額：5,236百万円(本特例措置を受けた投資額の割合(平均)：43.0%))</p>										
<p>前回要望時からの達成度及び目標に達していない場合の理由</p>	<p>令和3年度及び令和4年度の2年間に漁協等が取得する機械等の実績見込みは4,840百万円(本特例措置を受けた投資額の割合(平均)：50.3%)である。</p> <p>目標に達していない理由として、水産業は他産業に比べ外的要因の影響が大きく、近年の水産資源変動等により、その体質強化が十分に進んでいないことが考えられる。よって引き続き本特例措置により生産性向上に向けた設備投資の促進を図る必要がある。</p>										
<p>これまでの要望経緯</p>	<p>創設：平成10年4月総合経済対策 延長：平成11年、12年、13年、14年、16年、18年、20年、22年、24年、26年、29年、31年、令和3年 拡充(生産性向上に資する設備への優遇措置)：平成26年度 拡充(通常措置及び上乗せ措置の対象設備に器具備品と建物付属設備を追加)：平成29年度</p>										